

□ 第3回複合施設の設置及び運営に関する懇談会 議事録要旨

日 時	平成 22 年 3 月 24 日（水） 19:00～21:00
場 所	荒川区役所 4 階 庁議室
出席者	<p>〔委 員〕 柳田邦男座長、阿久戸光晴副座長、山崎一穎委員、小林敦子委員、志村博司委員、齊藤泰紀委員、並木一元委員、竹内捷美委員、戸田光昭委員、吉田詠子委員、齊藤邦子委員、横山幸次委員、上田寛子委員、興野愛子委員、高田忠則委員、三嶋重信委員、三ツ木晴雄委員、川寄祐弘委員</p> <p>〔陪席者〕 友塚教育次長、藤田文学館調査担当部長、高梨子育て支援部長、佐藤社会教育課長兼文学館調査担当課長、北村南千住図書館長、鈴木指導室長、濱島計画課長、小泉児童青少年課長</p> <p>〔事務局〕 北川総務企画部長、五味総務企画課長、飯田特命担当課長、吉野南千住図書館管理係長、村木南千住図書館サービス係主査、坂入文学館調査担当係長、谷井企画係主査、須田主事</p>

1 各分科会の報告〔事務局説明〕

- (1) 図書館・文学館分科会（3月10日開催分）
- (2) 児童育成施設分科会（3月9日開催分）

2 複合施設の連携について〔事務局説明〕

3 意見交換 懇談会報告書（案）について

- ・「はじめに」の13行目を「児童のための体験型施設」とする。
- ・図書館は貸出の他に展示もありうる。海外の絵本の展示、テーマ性を持たせると特色を高めることになる。
- ・P90 連携マトリクスの表について
  - ・図書館部分に絵本館の連携を加える。
  - ・児童育成施設と文学館の連携について、記述が少ないので、P53、P89を整理して追加し、厚みを出す。
- ・複合施設全体の記述に、「環境配慮、角を丸くするなどの安全配慮」の記載をする。
- ・P93の小中学校等との連携について
  - ・学校の先生たちに施設を見てもらわないと困るので、教師の新任研修の一環で3つの施設を見学するなどを義務付けてはどうか。
  - ・幼稚園や保育園（私立も）の先生も体験ツアーをやってはどうか。
- ・周辺道路の整備、施設へのアクセスなども今から計画して進める。

- ・道路もそうだが、周辺を取り入れた、また周辺を生かせるような施設であってほしい。
- ・吉村昭記念文学館の書齋は、入ってすぐのエントランスにある方がいい。
- ・三館をこれから進めていく上で準備委員長（その道の専門家に準備段階からかかわってもらふこと）が絶対に必要。
- ・専門家が関わってくれることは必要。
- ・複合施設全体の名誉館長を柳田先生にお願いしたい。
- ・将来にわたって文学館が生き生きと生かされるような仕掛けが大変重要。そういった視点を取り組んでほしい。
- ・絵本の活用、伝承の遊び、語り部、紙芝居などを採り入れる。
- ・子ども時代の体験は一生を左右する。伝承の遊びを。体験的遊びを大切にはぐくんできたいという発信ができる施設として大いに期待している。
- ・ボランティアの育成、活用を進める。ボランティアでありながら学ぶことができる魅力になる。
- ・人が集まって出てくる発想なども大切にしていければと思う。
- ・P27（3）に読み聞かせや紙芝居、指遊び・手遊び、パフォーマンスをやる場「階段状シアター形式の小さな催しコーナーがほしい」といったことを記載する（（3）に追加することにより以下項目をずらす）。多目的に使えるというニュアンスも加えて、独立させた項目を立てる。

最後に、本会における意見等を懇談会報告書（案）に盛り込み、その最終確認は座長一任とすることを全委員一致で了承し、閉会。